

《II ユニバーサルデザイン関係》

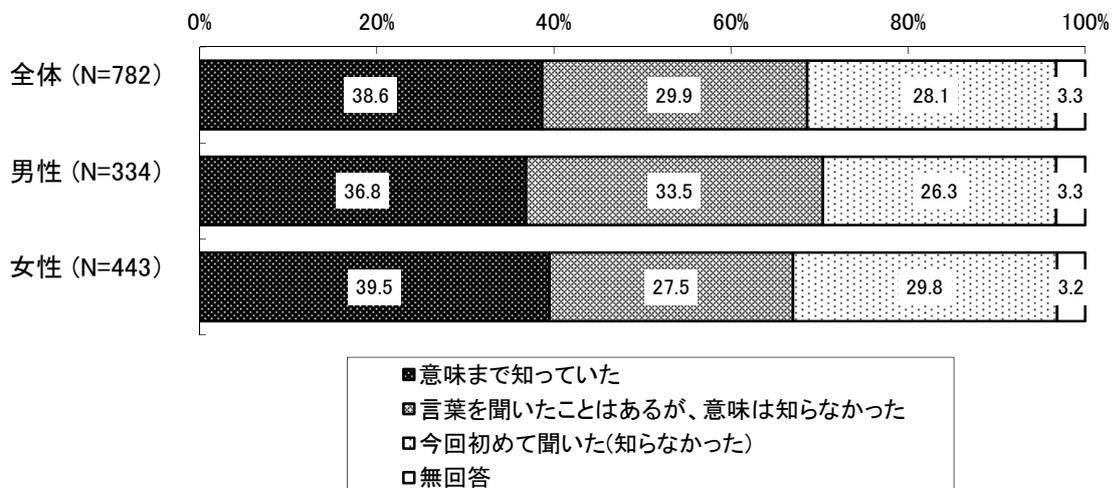
1 「ユニバーサルデザイン」という言葉の認知度

問 26 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていましたか。(1つに○)

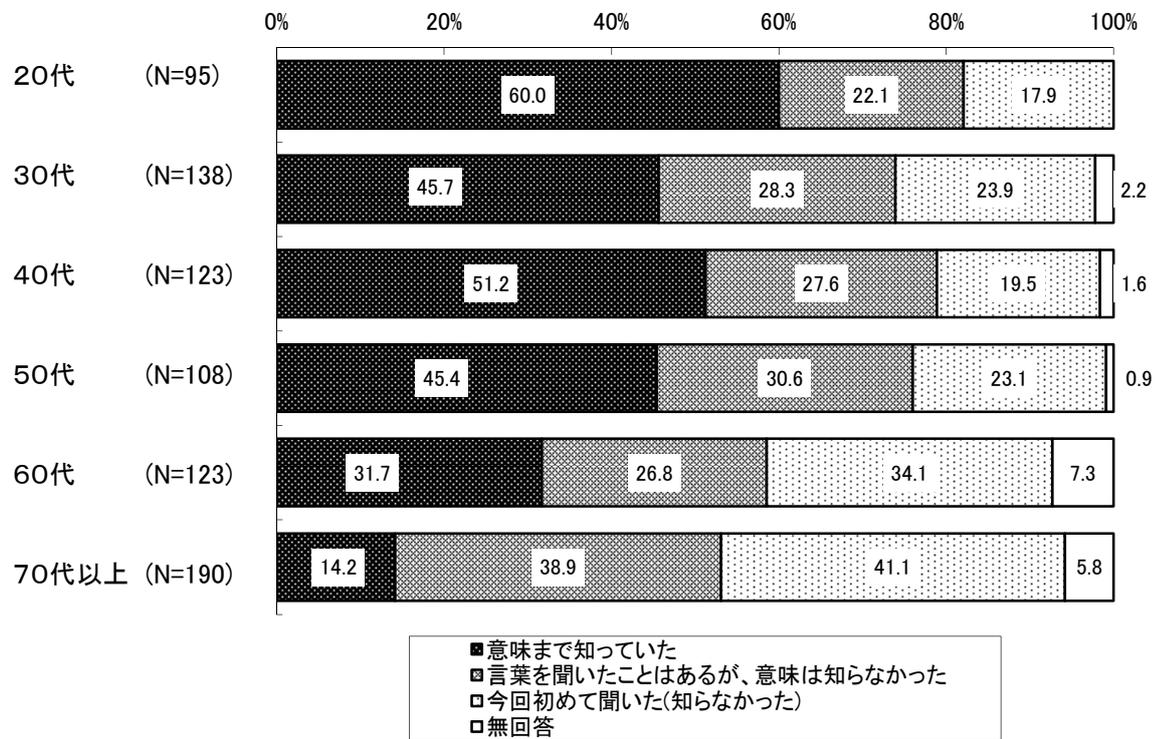
「意味まで知っていた」と「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった」を合わせた“認知度”は68.5%。

- 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていたかをたずねたところ、「意味まで知っていた」は38.6%、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった」は29.9%で、合わせた言葉の“認知度”は、68.5%と6割以上を占めている。
- 性別にみると、「意味まで知っていた」では、男性が36.8%、女性が39.5%で、女性の方がやや高くなっている。“認知度”では、男性が70.3%、女性が67.0%で男性の方が高い。
- 年代別にみると、20代で「意味まで知っていた」が60.0%で6割を占めている。“認知度”では、20代が82.1%と最も高く、30代、40代、50代でも7割以上となっている。

【ユニバーサルデザインという言葉について】



【年代別】



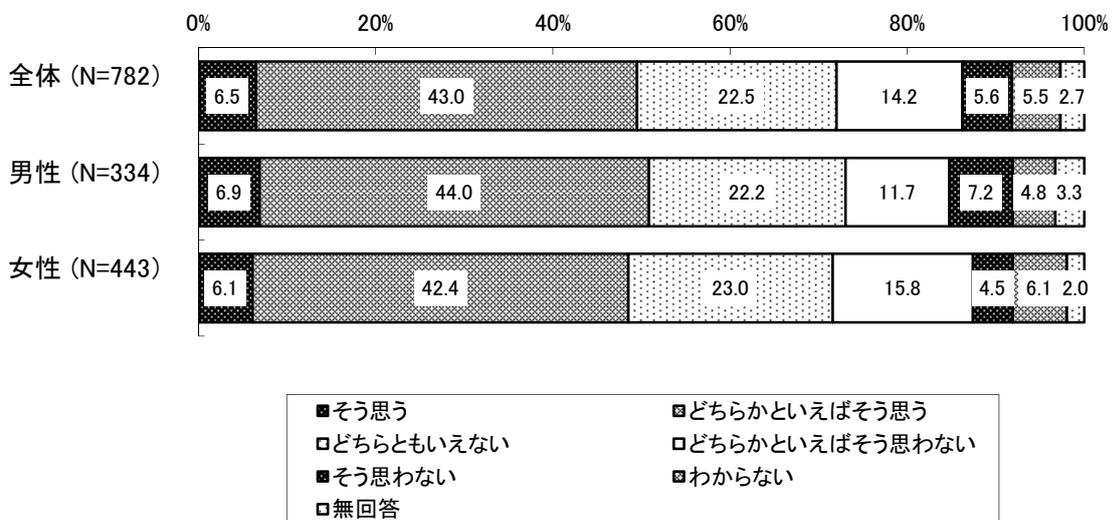
2 誰もが暮らしやすいまちづくりの整備

問 27 あなたの身の回りでは、多くの人が利用する施設（市民ホール、図書館、公園、病院、ショッピングセンター、駅ビル、鉄道駅など）における、多目的トイレ、エレベーター、エスカレーター、スロープ、まちや建物内での分かりやすい案内表示の整備など、誰もが暮らしやすいまちづくりが進んでいると思いますか。（1つに○）

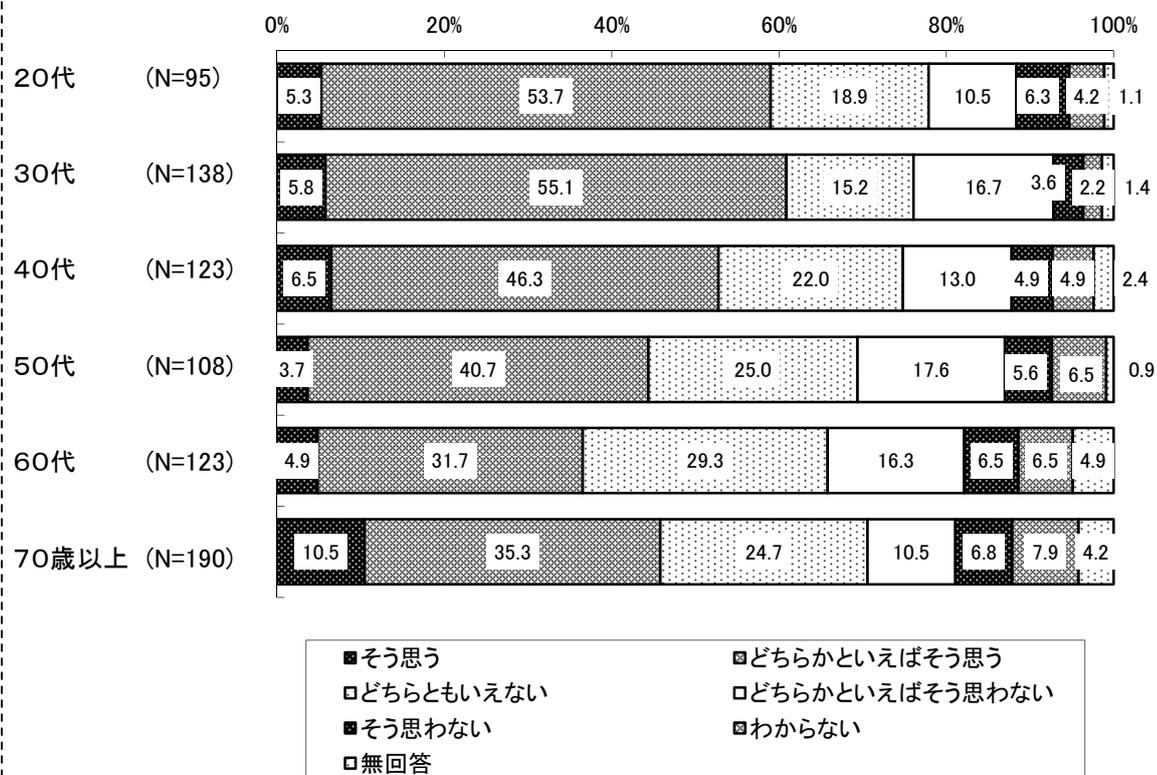
「まちづくりが進んでいる」と“思う”は約5割。

- 誰もが暮らしやすいまちづくりが進んでいるかをたずねたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”は49.5%と約5割を占めている。「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“思わない”は、19.8%となっている。
- 性別にみると、“思う”では、男性が50.9%、女性が48.5%で、男性の方がわずかに高くなっている。“思わない”は、男性が18.9%、女性が20.3%で、女性の方がわずかに高い。
- 年代別にみると、20代、30代で“思う”が6割前後と高くなっている。“思わない”は、30代、50代、60代で2割を超えている。

【誰もが暮らしやすいまちづくりが進んでいると思うか】



【年代別】



3 「心のユニバーサルデザイン」の取組

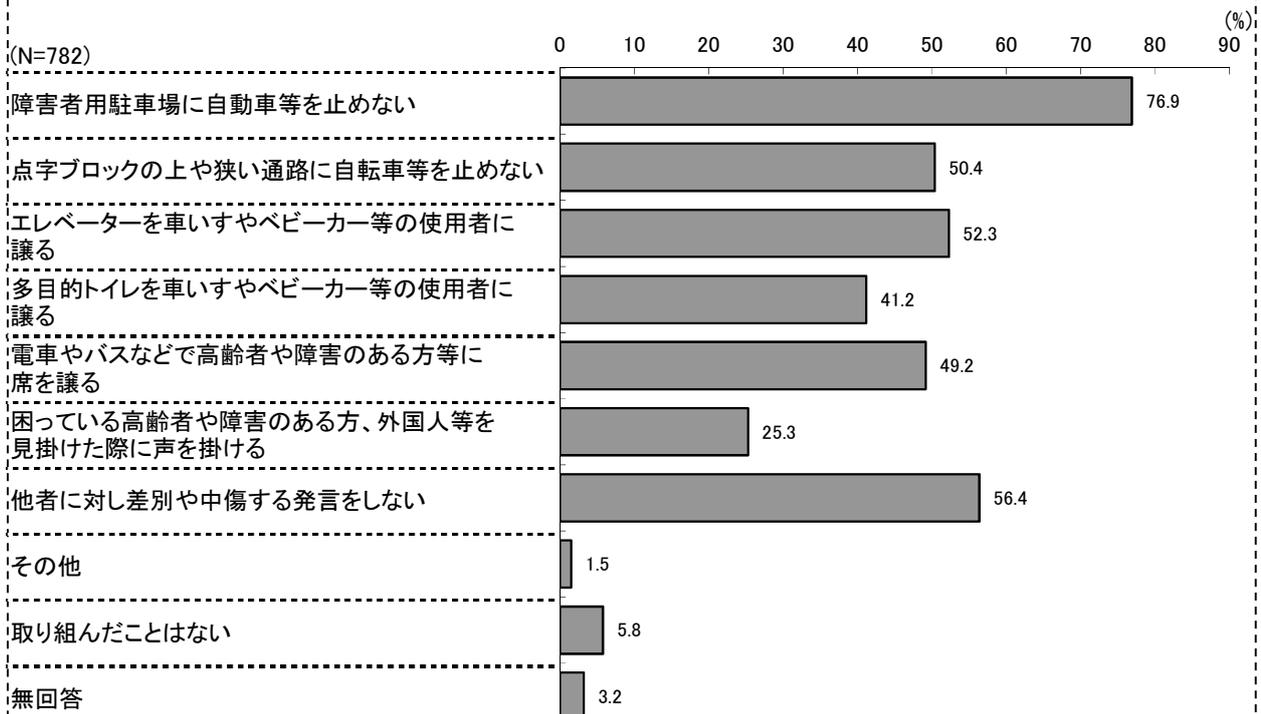
問 28 相手の立場に立って考え、行動することを「心のユニバーサルデザイン」といいます。あなたは過去1年間に、高齢者や障害のある方、妊娠している方、幼い子どもを連れた方、外国人等に対して、次のような気配りに取り組んだことがありますか。(あてはまるもの全てに○)

「障害者用駐車場に自動車等を止めない」が7割強。

■ どのような気配りに取り組んだことがあるかをたずねたところ、「障害者用駐車場に自動車等を止めない」が76.9%で最も高く、次いで、「他者に対し差別や中傷する発言をしない」が56.4%、「エレベーターを車いすやベビーカー等の使用者に譲る」が52.3%、「点字ブロックの上や狭い通路に自転車等を止めない」が50.4%と続いている。

■ 性別にみると、「障害者用駐車場に自動車等を止めない」が、男性78.1%、女性75.8%で、ともに高くなっている。「多目的トイレを車いすやベビーカー等の使用者に譲る」では、男性35.3%、女性46.0%で、女性の方が10.7ポイント高くなっている。

【心のユニバーサルデザインへの取り組み】



【性別】

